

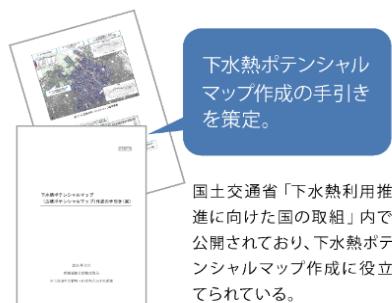
下水熱ポテンシャルマップ作成 〈発注者：国土交通省水管理・国土保全局〉

下水がもつ熱量を”見える化”するためのツール「下水熱ポテンシャルマップ」を開発

下水熱を利用するに当たり、計画・設計に必要な不可欠である下水熱の賦存量や存在位置を容易に把握できる「下水熱ポテンシャルマップ」を開発し、複数都市における下水熱ポテンシャルマップを作成しました。基本内容に加えポテンシャル表示方法の変更機能やバス停・公共施設の表示ができる独自のマップも作成しています。

ポテンシャルマップの作成

平成25年度に、広域ポテンシャルマップの作成の手引きを取りまとめた。手引きの作成手法を基に、モデル都市3地域において「広域ポテンシャルマップ」を作成。また平成26年度には採算性・環境性の検討や実施設計に必要な情報を提示する「詳細ポテンシャルマップ」の手引きを取りまとめ、5地域において詳細ポテンシャルを作成。



下水熱ポテンシャルマップ作成実績			
年度	対象都市	マップ種類	発注者
H25	仙台市	広域	環境省(国交省連携事業)
H25	神戸市	広域(簡易版)	環境省(国交省連携事業)
H25	福岡市	広域	環境省(国交省連携事業)
H26	浦安市	詳細	環境省(国交省連携事業)
H26	豊田市	詳細	環境省(国交省連携事業)
H26	茨木市	詳細	環境省(国交省連携事業)
H26	神戸市	詳細	環境省(国交省連携事業)
H26	福岡市	詳細	環境省(国交省連携事業)
H28	久留米市	広域	久留米市
H28	広島市	広域	国土交通省
H28	北九州市	広域	国土交通省

ポテンシャルマップの活用

下水熱利用導入における最大の課題

- ① どこで、どれだけ使えるかわからない
- ② 情報が少なく導入の検討が難しい



「エネルギーの見える化」でわかりやすく

- ・GIS(地理情報システム)を活用し管路上の各マンホールにおける熱ポテンシャルを可視化した「下水熱ポテンシャルマップ」を作成
- ・都市内の何処にエネルギーが眠っているかを知ることができ下水熱利用の検討が可能!

需要と供給のマッチング検討や導入可能性検討もご支援可能

